

Hot People

最近のまちの話題をお届けします

1

新たな時代を書で

平成を引き継ぐ新たな元号「令和」が発表され、市内在住の書道家、米川香庵さんに新元号を書いていたいただきました。書は、5月31日まで市役所本所市民ホールに飾られています。

4/1

2

日本書作院展で文部科学大臣賞

昨年米寿を迎えた香庵さんは、元教師で宍戸中(現友部中)や岩間中、そして南中(現みなみ学園)で教壇に立っていて、その時から書に触れ、現在も市内で書道教室を開くなどの活動をされています。

2/11

3

技能グランプリで敢闘賞を受賞

2月7日〜18日まで、東京の国立新美術館で開かれた「第59回日本書作院展」で、市内在住の新堀應秋さんが大賞の文部科学大臣賞を受賞しました。新堀さんは「家族や周りの方に支えられながら、45年間休むことなく地道に続けてきた書道で、大きな賞をいただいている本当に嬉しい。」と話されました。

3/1

「熟練技能者の日本一を決める」第30回技能グランプリが、神戸国際展示場など全国6会場で開催され、瓦ぶきで青木瓦工業(本戸)の青木康宜さんが敢闘賞に入賞しました。青木さんは、地元で根付く瓦屋になりたいと、笠間に戻り平成25年に青木瓦工業を起業し、今回代表として入賞し、茨城の技術の高さや姿勢をアピールしてくれました。



青木さん



新堀さん



米川さん(左)



表彰式の様子

4

消防功労者消防庁長官表彰を受章

3/6

笠間市の消防本部と消防団が連名で、消防庁長官表彰の竿頭綬を受章しました。

平成27年度から六戸小学校で実施している、消防資機材を使用したイベントを通じて、消防に対する理解と親近感を深めてきたことが、先進的な取り組みとして認められました。

5

3年間に感謝

3/19

笠間市では、地域おこし協力隊として6名の隊員が活動していて、その活動内容や取り組み内容についての活動報告会がトモアで行われました。

3月で3年間の活動期間が満了となった柳澤隊員と秋元隊員にとっては最後の報告会となり、笠間に対する熱い思いや感謝の気持ち、3年間の思い出、これからの予定などが語られました。

6

よりよい地域・社会を目指して

3/22

笠間青年会議所（笠間JＣ）の役員の方々が年間事業や今後の方向性、体制について説明を行うため市を訪れました。

笠間JＣでは、魅力発信、青少年育成、自己啓発を軸に様々な活動をしています。そのなかでコミュニケーション力やチームワークを活性化するビジネス研修等に力をいれていて、よりよい地域や社会を作る取り組みを行っています。



笠間青年会議所の皆さん



左から、退任された秋元さんと柳澤さん

7

家族みんなで取り組む農業

3/27

家族経営協定調印式が行われ、橋本大敬さん、大月要さんの2組の家族が新たに協定を締結しました。

家族経営協定は、家族で営む農業において、経営方針や就業条件等を話し合い、取り決めるを行うことで健全な経営を目指すものです。協定を結んだ2組の家族からは「今回の締結で、娘や息子の意識が高まり、以前よりも現場作業や経営に関わりを持つようになった」とのコメントがありました。



サニーレタス畑の除草作業をする大月さんご夫婦



栗の剪定作業をする橋本さんご夫婦

8

行政相談員の磯さんに感謝状

4/12

10年にわたり、行政相談委員として活動をされてきた磯靖子さんが、3月31日で退任され、市長の立会いの下、総務大臣感謝状が贈られました。

磯さんは、市民と行政のパイプ役として、市民から行政に関する苦情や意見・要望を受け付け、その解決の促進を図る活動を続けてこられました。

4月1日には、磯さんの後任として、海老沢さんが加わり、新たなメンバーで市民の声に応えていきます。



新任の海老沢さん



左から、茨城行政監視行政相談センター所長奥山さん、磯さん、山口市長